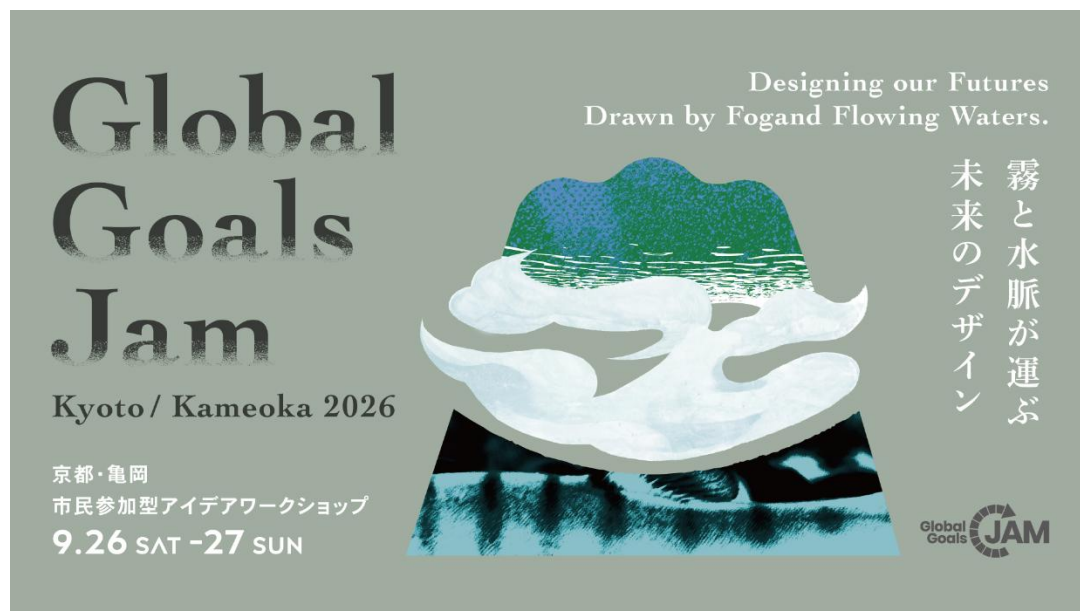


亀岡・保津川流域を舞台に、「全国都市緑化フェア」と連動した 国際デザインプログラム「Global Goals Jam Kyoto / Kameoka 2026」を開催

— 学生・地域市民らが地域の未来を考える実践型ワークショップを 9 月 26 日・27 日に実施 —

京都産業大学アントレプレナーシップ学環の伊藤慎一郎准教授は、九州大学大学院芸術工学研究院などとともに「Global Goals Jam Kyoto / Kameoka 2026 実行委員会」に参画し、亀岡市と共催して、2026 年 9 月 26 日(土)・27 日(日)の 2 日間、Circular Kameoka Lab で実践型ワークショップを実施します。



伊藤准教授は、2016 年より日本において Global Goals Jam の開催に関わり、以降も京都を拠点に継続して実施してきました。今回の開催では、亀岡・保津川流域をフィールドに、学部や所属を越えた学生と地域内外の参加者が混成チームを組み、水・緑・暮らしに関わる地域の価値や課題を見つめ、対話や観察、プロトタイピングを通じて、地域で試せる小さな提案や仕組みを形にしていきます。

■「Global Goals Jam」について

Global Goals Jam は、2016 年に国連開発計画 (UNDP) とオランダのアムステルダム応用科学大学が主体となって始まった国際的なイベントです。SDGs の達成に向けて、グローバルな視点で持続可能性を考え、ローカルな課題解決のアイデアをうみだす 2 日間の市民参加型ワークショップとして展開されています。これまで世界で 200 以上のイベントが開催され、8,000 人以上が参加し、1,000 を超えるアイデアが生まれています。京都では 2018 年から実施されており、2023 年には京北の里山を舞台に、生物多様性、素材とものづくり、森と都市の関係性について考える市民参加型の合宿形式ワークショップを開催しました。

■2026 年度の開催について

今回の舞台となる亀岡市は、保津川を中心とした豊かな自然環境や生物多様性に恵まれており、プラスチックごみゼロをはじめとする資源循環など、持続可能なまちづくりを進めてきた地域です。

今年度は、亀岡市を含む京都丹波地域で開催される「第 43 回全国都市緑化フェア in 京都丹波」とも連動して実施します。亀岡・保津川流域をフィールドに、学生と地域市民らが、目に見える自然だけでなく、その背景にある水や人、暮らしのつながりにも目を向けながら、地域の未来について考えます。

■学生・地域市民らが参加 フィールドワークからプロトタイピングまでを実践

9 月 26 日(土)・27 日(日)のワークショップには、本学学生をはじめ、地域内外から多様な関心や専門性を持つ参加者が参加する予定です。参加者は混成チームを組み、リサーチ、アイデア発想、プロトタイピング、発表に取り組みます。地域の文脈を読み解き、現場で得た気づきをもとに問いを立て、手を動かしながら提案を形にしていくプロセスは、課題発見力や共創力、実践的な構想力を育む学びの機会となります。



提案に向けて活動している過去の様子



京北の里山にて活動している過去の様子

■アントレプレナーシップ学環を起点に、学部横断・地域参加型の学びへ展開

本学アントレプレナーシップ学環は、地域や社会の課題を現場で捉え、多様な人々との協働を通して新たな価値を構想する実践的な学びを重視しています。本企画では、伊藤准教授のこれまでの開催経験を、本学での教育・実践と接続し、アントレプレナーシップ学環を 1 つの起点としながら、学部横断・地域参加型のデザインワークショップとして展開します。

本リリースは、開催に先立ち、本企画の背景と目的を紹介する第 1 弾です。
 今後は、ワークショップ実施後の活動内容や成果発表についても順次発信する予定です。

Global Goals Jam Kyoto / Kameoka 2026

- 日 時 2026 年 9 月 26 日(土)・27 日(日)
- 会 場 Circular Kameoka Lab(サーキュラーかめおかラボ)
(〒621-0005 京都府亀岡市保津町下中島)
- 対 象 学生、市民、デザイナー、エンジニア、研究者、実践者など
- 参 加 費 5,000 円
- 参加人数 20 名程度 ※以下サイトより要事前申し込みください。
(申込の際、Peatix への登録が必要となります)
<https://ggjkyoto2026.peatix.com>
- 申込締切 2026 年 9 月 6 日(日)
- 共 催 Global Goals Jam Kyoto / Kameoka 2026 実行委員会、亀岡市
九州大学大学院芸術工学研究院
京都産業大学アントレプレナーシップ学環
一般社団法人 環境演出家協会
FabCafe Kyoto、
合同会社 TSUKUM / Kyoto Makers Garage
星庭／テンポラリー耶馬溪
- 協 力 保津川遊船企業組合、一般社団法人 Fogin、八百屋 369 商店
- 助 成 本事業は、一般社団法人京都知恵産業創造の森
令和 8 年度地域連携支援事業補助金の助成を受けて実施しています。

■主な内容

<DAY1>

- ・亀岡の地域や全国都市緑化フェアの文脈理解
- ・テーマに応じたレクチャー
- ・フィールドワーク、アイデア創出
- ・気付きの集約とデザインの問いの設定

<DAY2>

- ・コンセプト設計、プロトタイピング
- ・最終プレゼンテーション



会場：Circular Kameoka Lab(サーキュラーかめおかラボ)

本件に関するお問い合わせ先

内容について：京都産業大学 アントレプレナーシップ学環 TEL:075-705-1590

取材について：京都産業大学 広報部(広報担当)

TEL:075-705-